

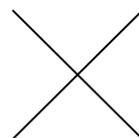
6

介護現場を変える
つの

【新しいビジネスモデル】

介護情報共有システム

N-SYSTEM
care



ネットワークカメラ

施設内カメラ

居室内カメラ

介護情報共有システムとネットワークカメラの連携による
介護現場における非接触ビジネスモデルの実現

01 「高齢者虐待と不適切なケアの防止と スタッフモラルの向上」

現状

- ・状況報告手段は口頭による伝達
- ・サービスの様子が見えない
- ・証拠となるデータが残っていない

解決

- ・サービス内容やスタッフの様子が見える化
- ・過去データより対応策を判断

02 「施設内のソーシャルディスタンス によるケアの実現」

現状

- ・各階の様子がわからない
- ・急遽他者の介助をおこななければならないことがある
- ・リアルタイムの介護情報がわからない

解決

- ・各フロアを動画カメラで見える化
- ・介護サービスデータを見ることで急な支援を対応

03 「事故原因の特定と再発予防の共有 によるアクシデント対策」

現状

- ・記憶から原因を追求
- ・言語化し報告内容を伝達
- ・報告内容の伝達を何度もしている

解決

- ・過去データからの原因を確認
- ・伝達事項をデジタル化

04 「介護職員の夜間巡回における 効率化と非接触への取り組み」

現状

- ・少ない人員体制で夜間を管理している
- ・居室巡回中は廊下や施設内の様子がわからない
- ・急な対応に反応できない

解決

- ・施設内の様子をiPadなどいつでも確認可能
- ・急な対応を行うことで事故を防ぐ

05 「遠隔によるコミュニケーションを可能 とした地域医療の連携を実現」

現状

- ・非接触対策により訪問に制限を設けている
- ・医療従事者に情報を伝えていない
- ・訪問しなければコミュニケーションが図れない

解決

- ・カメラにて繋がり居室にしながら会話ができる
- ・介護情報などをシステムで共有

06 「居室内孤立を防ぐための コミュニケーション体制の実現」

現状

- ・非接触対策により居室内にこもりがち
- ・居室内の利用者との会話は訪問し行う
- ・独居高齢者の様子はいかなければわからない

解決

- ・居室内カメラで定期的な声かけや会話を行う
- ・場所に問わず様子確認や会話することが可能